

日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本感染症学会

理事長 四柳 宏

I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。

a. 特に学術的に重要と考えられるもの

- 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなどに関する多施設共同研究
- 様々な学会ガイドラインの策定、出版
- オリンピック・パラリンピックにあたっての感染症情報の発信

b. 当該領域における国際的な役割

Infectious Diseases Society of America (IDSA)、European Society of Clinical Microbiology and Infectious Diseases (ESCMID)と MOU を結び、持続的・戦略的国際交流を行っている。新型コロナウイルス感染症については IDSA との間でシンポジウムを共同開催した。また、International Society for Infectious Diseases が隔年開催する国際学会で共催シンポジウムを行なっている。

c. 活動からもたらされる社会的な意義

感染症は学会・学会構成員が社会に情報発信することが人々の行動に影響を及ぼし、その成果が短期間に明らかにされる分野である。従って学会の活動は、国民の疾病予防に大き

な意義があると言える。

d. 学会運営上留意している点

- 会員が内科（呼吸器・血液・消化器）、小児科、外科など様々な基本領域に属しているため、情報・意見交換に心がけている。
- 微生物関連学会との連携にも留意している。

II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動

を記載してください。

- ・公益社団法人日本化学療法学会、一般社団法人日本環境感染学会、一般社団法人日本臨床微生物学会との四学会合同で2014年から毎年1回セミナーを開催（2020年は中止）
- ・厚生労働省主催の「新型インフルエンザの診療に関する研修」を2013年から一般社団法人日本呼吸器学会と共催（2020年は中止）
- ・一般社団法人日本臨床微生物学会と合同で敗血症などの重症感染症に対する遺伝子関連検査の実施指針を公表した（2017.5.30、2020.12.28）
- ・一般社団法人日本呼吸器学会からの依頼で、炎症性疾患に対する生物的製剤と呼吸器疾患診療の手引き第2版の作成に協力した（2020.8.7）
- ・一般社団法人日本消化器内視鏡学会からの依頼で消化器内視鏡の洗浄・消毒標準化に向けたガイドラインを作成した（2020.6.5）
- ・一般社団法人日本救急医学会、一般社団法人日本環境感染学会、一般社団法人日本臨床救

急医学会、一般社団法人日本臨床微生物学会の5学会連携で救急外来部門における感染対策チェックリストを作成しHPにて公開(2020.3.31)

- ・公益社団法人日本化学療法学会と合同で *Clostridioides(Clostridium)difficile* の感染症診療ガイドラインを発行した(2020.1.20)
- ・公益社団法人日本化学療法学会と合同で、JAID/JSC 感染症治療ガイド 2019 を発行(2019.11.16)
- ・一般社団法人日本呼吸器学会と合同で、「65歳以上に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方」を作成しHPにて公開(2017.10.23、2019.10.30)
- ・公益社団法人日本化学療法学会、一般社団法人日本環境感染学会、一般社団法人日本臨床微生物学会と協力して抗菌薬の安定供給に向けた四学会の提言「生命を守る薬剤を安定して使えるように」の提言を厚労大臣に提出した(2019.9.2)
- ・公益社団法人日本化学療法学会、一般社団法人日本臨床微生物学会と合同ブレイクポイントの臨床応用を考える①フルオロキノロン剤を発行した(2019.6.21)
- ・公益社団法人日本化学療法学会と合同でMRSA感染症の治療ガイドライン「改訂版」2019を発行した(2019.6.14)
- ・公益社団法人日本化学療法学会と外来抗菌薬適正使用調査委員会を立ち上げ、アンケート調査を行なった(2019.5.30)
- ・公益社団法人日本化学療法学会と合同で、JAID/JSC 感染症治療ガイドライン(腸管感染症、尿路感染症・男性性器感染症、菌性感染症、敗血症およびカテーテル関連血流感染症、男性尿道炎とその関連疾患)を雑誌およびHPにて公開(2016.2.4、2016.2.4、2016.7.29、2018.2.1、2018.5.25)

- ・公益社団法人日本化学療法学会、一般社団法人日本環境感染学会、一般社団法人日本臨床微生物学会で四学会連携提案としてカルバペネムに耐性化傾向を示す腸内細菌科細菌の問題
(2017) 「カルバペネマーゼ産生菌を対象とした感染対策の重要性」を公開した
(2017.10.25)
- ・公益社団法人日本化学療法学会、一般社団法人日本環境感染学会、一般社団法人日本臨床微生物学会、公益社団法人日本薬学会、一般社団法人日本医療薬学会、一般社団法人日本TDM学会、一般社団法人日本医真菌学会の8学会で、抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイドンスを作成しHPにて公開 (2017.8.21)